

御見積書

作成者：東京科学大学 添田悠介

作成日：2025年12月24日

ウェアラブル会話記録デバイス PoC開発業務

本プロジェクトにおける費用内訳をご提案いたします。

本プランは、技術的な録音検証に加え、実使用を想定した最低限の保護（バッテリーケース）とデバイス2台分の部材費を含めた構成となっております。

1. 開発プラン概要

本PoC（概念実証）では、デバイスの基本機能である音声取得と無線によるデータ送信の実現可能性を検証することに主眼を置いています。開発の範囲および提供形態は以下の通りです。

項目	内容
想定用途	技術検証、初期PoC、実機2台による動作確認
筐体(ケース)	バッテリー保護ケースのみ（基板部分は露出または簡易絶縁処理）
ファームウェア	基本的な録音機能の実装、データの書き込み制御
検証テスト	机上でのデバッグ、基本動作チェック
納品物	実機プロトタイプ、ソースコード、報告ドキュメント

2. 費用内訳（税抜）

本業務の遂行にあたり、設計から部材調達、実装、検証までに要する費用を以下の通り算出いたしました。各工程の役割と金額の詳細は下表をご参照ください。

No.	工程項目	金額(円)	内容詳細
1	要件定義、設計費	50,000	必要最小限の構成検討、部品調達
2	材料費	30,000	デバイス2台分の部材一式（マイコン、バッテリー等）
3	筐体製作費	63,000	バッテリーケースの設計および3Dプリントによる作製
4	ファームウェア開発費	237,000	基本録音機能の実装、ファイルシステム書き込み制御、エラー処理
5	検証・品質テスト費	45,000	机上でのデバッグ、動作チェック
6	プロジェクト管理、報告費	75,000	進行管理、報告ドキュメント作製
合計（税抜）		¥500,000	

3. 備考・諸条件

円滑なプロジェクト進行のため、以下の納期および対応範囲についてご確認をお願いいたします。

1. 納期の目安

ご発注より約1.0ヶ月を予定しております。

2. スコープ外事項

小型化に向けた筐体の設計・製作、長時間のフィールドテスト、高度な省電力アルゴリズムの実装は本プランに含まれません。